



こども園だより

8月号

令和 7年 8月 1日
荒川区立汐入こども園
園長 天 野 英 幸
☎3801-7285

挨拶は心をつなぐ魔法の言葉

園 長 天 野 英 幸



夏空 千住汐入大橋より

「おばけなんてないさ」

作詞：榎 みのり・作曲：峯 陽

おばけなんて ないさ
おばけなんて うそさ
ねぼけた ひとが みまちがえたのさ
だけどちょっと だけどちょっと
ぼくだって こわいな
おばけなんて ないさ
おばけなんて うそさ



夏の光を浴びて、年長組が育てている園庭のトウモロコシが、大人の背丈を越えるほど大きくなりました。夏本番、記録的な猛暑が続く中、こども園には毎日、元気な子どもたちの声が響いています。ターフを張った園庭プールは大忙し。幼児クラスは水に揺られてワニやラッコに変身しながら、乳児クラスはプール横の水遊びスペースでジョウロやひしゃくを使って、思い切り水の感触を楽しんでいます。

朝から気温が上がり、保護者の皆様には登園時の熱中症対策に気を遣われていることでしょう。自転車から降りると汗びっしょりの子、長い時間歩いてきて頭が熱くなっている子など、思わず「よく来たね」と声を掛けてしまうこともしばしば。それでも元気に「おはようございます」と挨拶したり、笑顔でハイタッチしたりと、子どもなりに一日の始まりを意識していることを強く感じる朝のひと時です。

先日、狂言師の野村萬斎さんの講演を聞く機会がありました。その中で「稽古の始まりには丁寧に挨拶をします。それは、日常から狂言の世界へと気持ちの区切りをつけるためです。」という話が印象的でした。なぜならば、私が毎朝子どもたちと交わす挨拶が同じような意味をもつのでは、と考えたからです。今日も一日がんばるぞと、誰もが気持ちに区切りを付ける朝の挨拶。大事にしていきたいです。

挨拶は心をつなぐ魔法の言葉。どんな短い挨拶にも、相手を大切に思っています、というメッセージが込められています。初めて会う人でも、国が違ってても、「おはようございます」「ありがとう」そんな一言が心を開き、互いを尊重する気持ちへとつながっていくのでしょうか。まずは私たち大人が挨拶の大切さを体現し、温かい言葉が行き交う毎日がいかに心地よいかを、子どもたちに伝えて参りましょう。

登園・降園時の安全にお気を付けください

- ・汐入公園の改修工事に伴い、園前の通行禁止区域を大型車両が行き交っています。登園・降園時に車両と接触することがないように、自転車の走行や道路の横断に十分お気を付けください。
- ・やむを得ず車で送迎される方は、工事車両の通行を妨げないために、園側の車線に車を停めてください。車から降りた後は、必ず保護者の方とお子さんが手をつないで歩道まで移動してください。